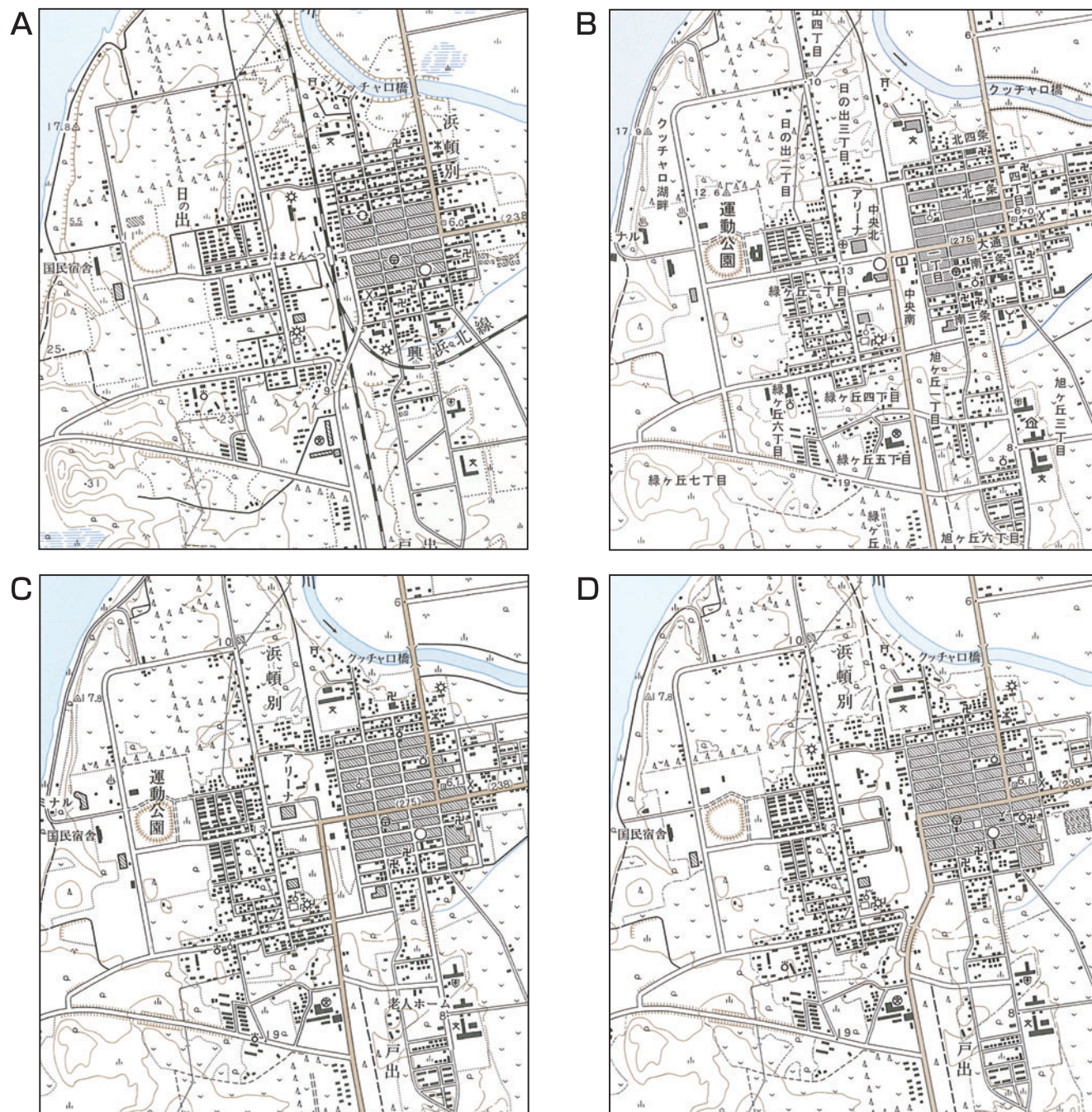


「今回は、第19回地図地理検定の問題からの出題です。」

問 地図之介君は、地域がどのように変化してきたのかを調べるために、同じ場所で、発行年が違うA～Dの4枚の地形図を用意しました。しかし、4枚の地形図の発行年の順番がわからなくなっていました。発行年の古い方から新しい方へ順に並べたとき、正しい順番はどれですか。下の①～④のうちから1つ選びなさい。
(2万5千分1地形図「浜頓別」:昭和57年・平成4年・平成10年・平成20年)

- ① A→C→B→D ② B→C→D→A ③ A→D→C→B ④ B→D→C→A



【解説】正解は②。平成20年7月1日、岩手県滝沢市が誕生しました。この日、旧滝沢町、旧八幡平市、旧盛岡市の3市が合併し、新しい滝沢市が誕生しました。この合併により、滝沢市の面積は182.32km²となり、人口は54,710人となりました。この合併は、平成25年版 住民基本台帳人口要覧に記されています。

岩手県「滝沢市」平成26年1月1日に誕生

岩手県滝沢村が平成26年1月1日に市制が施行され「滝沢市」となります。

滝沢村は広大な土地を背景に盛岡市のベッドタウンとして発展してきました。人口は5万4千人を超えており、日本で一番人口の多い村として有名でした。

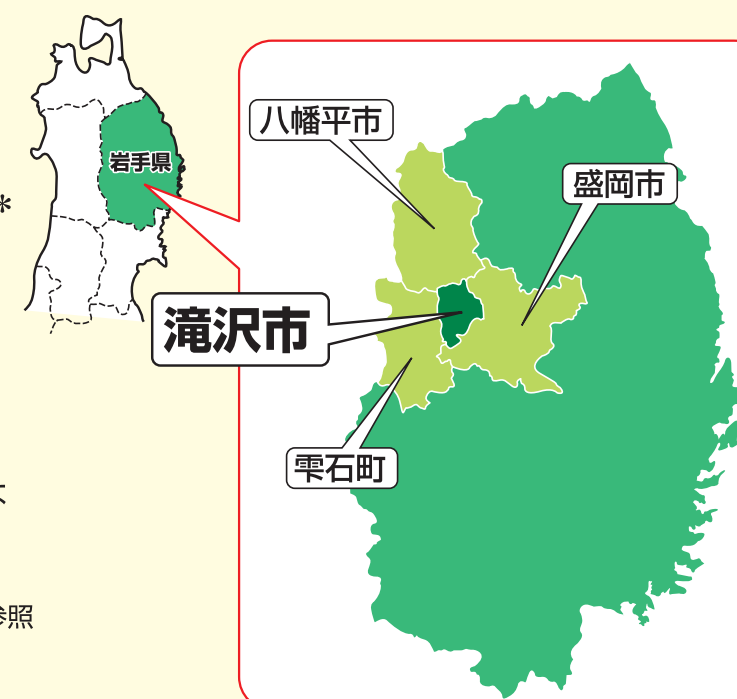
今回の単独市制については、全国的にも沖縄県豊見城市(旧島尻郡豊見城村)に次ぐ、現行の地方自治法に基づいて村が市となる2例目となります。

毎年6月第2土曜日に行われるチャグチャグ馬コは、みちのくの初夏を彩る風物詩として有名です。

「滝沢市」について

人口	54,710人 (外国人を含む)*
世帯数	21,486世帯 (外国人世帯を含む)*
面積	182.32km ²
隣接自治体	盛岡市 八幡平市 雫石町
特産品	すいか、りんご、いわな

*国土地理協会発行
『平成25年版 住民基本台帳人口要覧』を参照



今号では滝沢市誕生にちなみ、岩手県で過去に行われた「平成の大合併一覧」をご紹介します。



平成の大合併とは、市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）（平成16年法律第59号）に基づいて、1999年4月から2010年3月までに行なわれた市町村合併の総称です。今回、滝沢村の市制が施行される岩手県では、下記のような合併が行われてきました。1994年4月には13市30町16村、計59自治体がありましたが、2014年1月1日には、14市15町4村の33自治体となります。

新市町村名	年月日	旧市町村名	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
盛岡市（もりおかし）	2006.01.10	（編入）盛岡市, 岩手郡玉山村	294,435	129,671	886.47
宮古市（みやこし）	2005.06.06	宮古市, 下閉伊郡田老町・新里村	57,575	24,040	1,259.89
	2010.01.01	（編入）宮古市, 下閉伊郡川井村			
大船渡市（おおふなとし）	2001.11.15	（編入）大船渡市, 気仙郡三陸町	39,117	14,616	*323.30
花巻市（はなまきし）	2006.01.01	花巻市, 稗貫郡大迫町・石鳥谷町, 和賀郡東和町	101,026	36,109	908.32
北上市（きたかみし）	－	－	93,910	35,409	437.55
久慈市（くじし）	2006.03.06	久慈市, 九戸郡山形村	37,440	15,409	623.14
遠野市（とのおし）	2005.10.01	遠野市, 上閉伊郡宮守村	29,624	10,795	825.62
一関市（いちのせきし）	2005.09.20	一関市, 西磐井郡花泉町, 東磐井郡大東町・千厩町・東山町・室根村・川崎村	126,957	46,054	1,256.25
	2011.09.26	（編入）一関市, 東磐井郡藤沢町			
陸前高田市（りくぜんたかたし）	－	－	20,631	7,474	232.29
釜石市（かまいしし）	－	－	37,161	16,984	*441.43
二戸市（にのへし）	2006.01.01	二戸市, 二戸郡浄法寺町	29,588	11,749	420.31
八幡平市（はちまんたいし）	2005.09.01	岩手郡西根町・松尾村・安代町	28,308	10,481	862.25
奥州市（おうしゅうし）	2006.02.20	水沢市, 江刺市, 胆沢郡前沢町・胆沢町・衣川村	124,235	43,868	*993.35
滝沢市（たきざわし）	2014.01.01	（市制施行）岩手郡滝沢村	54,710	21,486	182.32
岩手郡（いわてぐん）					
雫石町（しずくいしちょう）	－	－	17,893	6,201	609.01
葛巻町（くすまきまち）	－	－	7,137	2,885	434.99
岩手町（いわてまち）	－	－	15,029	5,450	360.55
紫波郡（しわぐん）					
紫波町（しわちょう）	－	－	34,044	11,368	239.03
矢巾町（やはばちょう）	－	－	26,670	9,326	67.28
和賀郡（わがぐん）					
西和賀町（にしわがまち）	2005.11.01	和賀郡湯田町・沢内村	6,542	2,437	590.78
胆沢郡（いさわぐん）					
金ヶ崎町（かねがさきちょう）	－	－	16,215	5,690	*179.77
西磐井郡（にしいわいぐん）					
平泉町（ひらいすみちょう）	－	－	8,239	2,616	*63.39
気仙郡（けせんぐん）					
住田町（すみたちょう）	－	－	6,182	2,234	334.83
上閉伊郡（かみへいぐん）					
大槌町（おおつちちょう）	－	－	12,892	5,423	200.59
下閉伊郡（しもへいぐん）					
山田町（やまだまち）	－	－	17,099	6,728	263.45
岩泉町（いわいすみちょう）	－	－	10,690	4,689	*992.91
田野畑村（たのはたむら）	－	－	3,794	1,435	156.19
普代村（ふだいむら）	－	－	2,975	1,133	69.69
九戸郡（くのへぐん）					
軽米町（かるまいまち）	－	－	10,317	3,776	245.74
野田村（のだむら）	－	－	4,602	1,662	*80.84
九戸村（くのへむら）	－	－	6,436	2,198	134.05
洋野町（ひろのちょう）	2006.01.01	九戸郡種市町・大野村	18,688	6,912	303.20
二戸郡（にのへぐん）					
一戸町（いちのへまち）	－	－	14,019	5,807	300.11

*面積の境界未定あり

『伊勢志摩定住自立圏』について

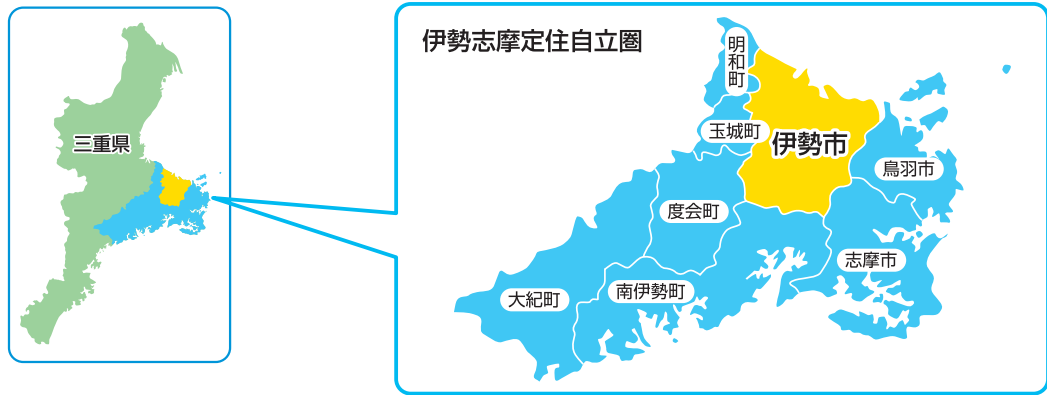
弊会では、総務省が掲げる「定住自立圏構想」についてポータルサイトを開設し、その内容と今後の取り組み、並びに基本的な情報を紹介しています。

今号では、今年7月に定住自立圏協定を結んだ「伊勢志摩定住自立圏」についてご紹介します。

構成市町村	伊勢市（中心市）・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町		
中心市宣言日	平成25年2月25日	協定締結日	平成25年7月18日

1. 圏域の概況

伊勢志摩地域は、伊勢志摩国立公園に指定されている自然豊かな地域で、特に海岸線は、志摩半島以西のリアス式海岸が有名で、圏域の北部には、清流「宮川」が貫流しています。また、多くの文化的資源にも恵まれ、なかでも「神宮」は、圏域の文化や民俗に深く関わり、圏域に一体感を与える重要な要素となっています。



2. 協定の概要

（1）生活機能の強化に係る政策分野

- 医療・福祉（医療体制の確保:休日夜間の救急医療体制確保等）
（子育て環境の充実:病児・病後児の保育施設の運営等）
- 産業振興（商工業の振興:卸売市場の経営基盤の確立、企業立地の推進等）
（農林漁業の振興:鳥獣被害防止対策）
（観光の振興:旅客誘致及び修学旅行誘致、国立公園の自然保護及び情報発信）

（2）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- 公共交通（交通ネットワークの充実:廃止代替路線バスの維持等）
（道路網の整備促進:県道等の道路整備事業の推進）
（観光交通渋滞緩和対策:交通渋滞に関する調査研究、パークアンドバスライド等）
- 地産地消（地産地消の推進及び地場産品のPR）
- 住民交流（地域情報の共有化及び発信:地域情報共有化、圏域内外への発信）
- その他（図書館サービスの充実、宮川流域の保全活動）

（3）圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- 人材育成（圏域市町職員・教職員の人材育成:職員の能力・資質向上のための合同研修会の開催）
（圏域内人材の育成:青少年の健全育成に関する情報交換及び研修会等の開催）

◆全国の取組状況

平成25年9月30日現在の状況は、次のとおりです。

宣言中心市	87市	中心市宣言を行った市の数
定住自立圏	75圏域	定住自立圏形成協定の締結または定住自立圏形成方針の策定により形成された定住自立圏の数
ビジョン策定市	76市	定住自立圏共生ビジョンを策定した宣言中心市の数